

1)新規採用医薬品

なし

2)仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
テイコプラニン点滴静注用 200mg「明治」 (テイコプラニン) グリコペプチド系抗生物質製剤 薬価:1,508 円/1 瓶 Meiji Seika ファルマ	<適応菌種>本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) <適応症>敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染 <用法用量>通常、成人にはテイコプラニンとして初日 400mg(力価)又は 800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回 200mg(力価)又は 400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。敗血症には、初日 800mg(力価)を2回に分け、以後1日1回 400mg(力価)を30分以上かけて点滴静注する。通常、乳児、幼児又は小児にはテイコプラニンとして 10mg(力価)/kgを12時間間隔で3回、以後 6~10mg(力価)/kg(敗血症などの重症感染症では 10mg(力価)/kg)を24時間ごとに30分以上かけて点滴静注する。また、新生児(低出生体重児を含む)にはテイコプラニンとして初回のみ 16mg(力価)/kgを、以後 8mg(力価)/kgを24時間ごとに30分以上かけて点滴静注する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。 <患者説明文>グリコペプチド系の抗生物質で、感染症の治療目的で使用する注射薬です。	

3)剤型・規格 変更/追加 医薬品

なし

4)メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
酢酸亜鉛錠 50mg「ノーベル」	ノベルジン錠 50mg	
インフルエンザ HA ワクチン「KMB」	インフルエンザ HA ワクチン「第一三共」	※製造中止
エダラボン点滴静注液 30mg バッグ「NP」	エダラボン点滴静注液バッグ 30mg「日医工」	※製造中止
ラキシバロン内用液 0.75%	ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「日医工」	※製造中止
ジルチアゼム塩酸塩注射用 50mg「サワイ」	ジルチアゼム塩酸塩静注用 50mg「日医工」	※製造中止
アミカシン硫酸塩注射液 200mg「SW」	アミカシン硫酸塩注射用 200mg「日医工」	※製造中止
塩化カリウム「ヤマゼン」	塩化カリウム「日医工」	※供給制限
インスリンアスパルト BS 注ソロスターNR「サノフィ」	ノボラピッド注フレックスタッチ	※供給制限

5)院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
クロミッド錠 50mg (クロミフェンクエン酸塩) 抗エストロゲン剤 薬価:93.90 円/1 錠 富士製薬	<効能効果・用法用量>○排卵障害にもとづく不妊症の排卵誘発:無排卵症の患者に対して本剤により排卵誘発を試みる場合には、まず Gestagen、Estrogen test を必ず行って、消退性出血の出現を確認し、子宮性無月経を除外した後、経口投与を開始する。通常第1クール1日クロミフェンクエン酸塩として 50mg 5日間で開始し、第1クールで無効の場合は1日 100mg 5日間に増量する。用量・期間は1日 100mg 5日間	

	を限度とする。○生殖補助医療における調節卵巣刺激:通常、クロミフェンクエン酸塩として1日50mgを月経周期3日目から5日間経口投与する。効果不十分な場合は、次周期以降の用量を1日100mgに増量できる。○乏精子症における精子形成の誘導:通常、クロミフェンクエン酸塩として1回50mgを隔日経口投与する。
--	---

医薬品名	効能・効果	用法・用量	備考
エースコール錠 2mg	割愛		※採用薬からの切り替え
モービック錠 10mg			
ポララミン錠 2mg			
バップフォー錠 10			
親水クリーム「ホエイ」			
フルメタクリーム			

## 6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
セルセプトカプセル 250 mg (ミコフェノール酸モフェチル) 免疫抑制剤 薬価:134.60 円/1 カプセル 中外製薬	<p>&lt;効能効果・用法用量&gt;○腎移植後の難治性拒絶反応の治療(既存の治療薬が無効又は副作用等のため投与できず、難治性拒絶反応と診断された場合):通常、成人には1回1,500mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。○腎移植における拒絶反応の抑制:成人:通常、1回1,000mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日3,000mgを上限とする。小児:通常、1回300~600mg/m<sup>2</sup>を1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2,000mgを上限とする。○心移植、肝移植、肺移植、脾移植における拒絶反応の抑制:通常、成人には1回500~1,500mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。しかし、本剤の耐薬量及び有効量は患者によって異なるので、最適の治療効果を得るために用量の注意深い増減が必要である。○ループス腎炎:成人:通常、1回250~1,000mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日3,000mgを上限とする。小児:通常、1回150~600mg/m<sup>2</sup>を1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2,000mgを上限とする。○造血幹細胞移植における移植片対宿主病の抑制:成人:通常、1回250~1,500mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日3,000mgを上限とし、1日3回食後経口投与することもできる。小児:通常、1回300~600mg/m<sup>2</sup>を1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2,000mgを上限とする。</p>	
デュピクセント皮下注 300mg ペン (デュピルマブ(遺伝子組換え)) ヒト型抗ヒトIL-4/13 受容体モノクローナル抗体 薬価:58,775 円/1 本 サノフィ	<p>&lt;効能効果・用法用量&gt;○既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎(最適使用推進ガイドライン対象):通常、成人には初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。通常、生後6カ月以上の小児には体重に応じて以下を皮下投与する。5kg以上15kg未満:1回200mgを4週間隔、15kg以上30kg未満:1回300mgを4週間隔、30kg以上60kg未満:初回に400mg、その後は1回200mgを2週間隔、60kg以上:初回に600mg、その後は1回300mgを2週間隔 ○既存治療で効果不十分な結節性痒疹:通常、成人には初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。○既存治療で効果不十分な特発性の慢性蕁麻疹:通常、成人には初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。通常、12歳以上の小児には体重に応じて以下を皮下投与する。30kg以上60kg未満:初回に400mg、その後は1回200mgを2週間隔、60kg以上:初回に600mg、その後は1回300mgを2週間隔 ○気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る)(最適使用推進ガイドライン対象):通常、成人及び12歳以上の小児には初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で</p>	

	皮下投与する。○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)(最適使用推進ガイドライン対象):通常、成人には1回300mgを2週間隔で皮下投与する。なお、症状安定後には、1回300mgを4週間隔で皮下投与できる。
プラザキサカプセル75mg (ダビガトランエテキシラート) 直接トロンビン阻害剤 薬価:134.50円/1カプセル 日本バーリンガーインゲルハイム	<効能効果>非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 <用法用量>通常、成人には1回150mg(75mgカプセルを2カプセル)を1日2回経口投与する。なお、必要に応じて、1回110mg(110mgカプセルを1カプセル)を1日2回投与へ減量すること。

## 7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ノバルジン錠 50mg	酢酸亜鉛錠 50mg「ノーベル」に変更
インフルエンザ HA ワクチン「第一三共」	製造中止 インフルエンザ HA ワクチン「KMB」に変更
エダラボン点滴静注液バッグ 30mg「日医工」	製造中止 エダラボン点滴静注液 30mg バッグ「NP」に変更
ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「日医工」	製造中止 ラキシベロン内用液 0.75%に変更
ジルチアゼム塩酸塩静注用 50mg「日医工」	製造中止 ジルチアゼム塩酸塩注射用 50mg「サワイ」に変更
アミカシン硫酸塩注射用 200mg「日医工」	製造中止 アミカシン硫酸塩注射液 200mg「SW」に変更
塩化カリウム「日医工」	供給制限 塩化カリウム「ヤマゼン」に変更
ノボラピッド注フレックスタッチ	供給制限 インスリンアスパルト BS 注ソロスターNR「サノフィ」に変更
フェルデン軟膏 0.5%	製造中止
ペリシット錠 250mg	製造中止
ゼスタッククリーム	使用実績なし
ミケラン点眼液 2%	使用実績なし

## 8) がん化学療法レジメン追加について

なし

## 9) その他

アルダクトン A 錠 25 mg: 削除中止

## 10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2023.12~2024.2)

レボレード錠	再生不良性貧血に対する6歳以上の小児の用法等追加
レキササリテ錠	うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)に対する効能等追加
プログラフカプセル・顆粒	腎移植に対する用法等追加
デュピクセント皮下注ペン・シリンジ	既存治療で効果不十分な特発性の慢性蕁麻疹に対する効能等追加
注射用エンドキサン	造血幹細胞移植における移植片対宿主病の抑制に対する効能等追加
ジャディアンス錠 10mg	慢性腎臓病に対する効能等追加
エンレスト錠	慢性心不全に対する1歳以上の小児の用法等追加

## 11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2023.12~2024.2)

デカドロン、コートリル、ソル・コーテフ(注射用)、 プレドニン、水溶性プレドニン、 メドロール、ソル・メドロール	【重要な基本的注意】「腫瘍崩壊症候群に関する記載」追記 【重大な副作用】「腫瘍崩壊症候群」追記
プレドネマ	【重要な基本的注意】「腫瘍崩壊症候群に関する記載」追記
ダイアモックス	【重大な副作用】「急性呼吸窮迫症候群、肺水腫」追記
ジェイゾロフト	【重要な基本的注意】「血液検査に関する注意事項」追記 【重大な副作用】「血小板減少」追記

イトリゾール	【重大な副作用】「偽アルドステロン症」追記
リネゾリド	【重大な副作用】「横紋筋融解症」追記
オフエブ、サイラムザ	【重大な副作用】「動脈解離」追記

## 12)院内副作用報告 (2023.12~2024.2)

【当院処方事例のみ記載】

トラムセツト	嘔気・嘔吐・胃部不快
バンコマイシン注	発熱、白血球減少
カロナール・バルトレックス	顔面紅潮・呼吸苦
タゾピペ注	皮疹